

ISSN 0385-7476
SSK

149
1997
May



その研究と情報

特集◎

視覚障害者用朗読システム最新事情

- 1 音声朗読システム「よみとも」について 原田全和
- 7 「ヨメール」、その現状と展望 望月優
- 14 視覚障害者による一般用OCRソフトの利用 和田浩一
- 21 ルポ◎

触れることは自分の世界を広げること

— 視覚障害者のための“桜井博物館” — 立花明彦

- 27 talk to talk◎

恩師と会って決意新たに

— 当事者のための組織目指して活動も継続 — 福島智／塩谷治

- 38 ボランティア最前線◎

点訳きつつき 齊藤宮子

- 45 平成9年度視覚障害者大学合格者・進学者ならびに就職状況一覧
- 50 インフォメーション・コーナー

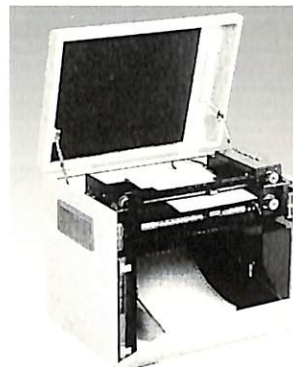
盲人用情報機器シリーズ

品質の良さは納入先に表れます。

ESA300Pro 点字ラインプリンタ 1ページ5秒! 最高速の業務用 点字ラインプリンタ

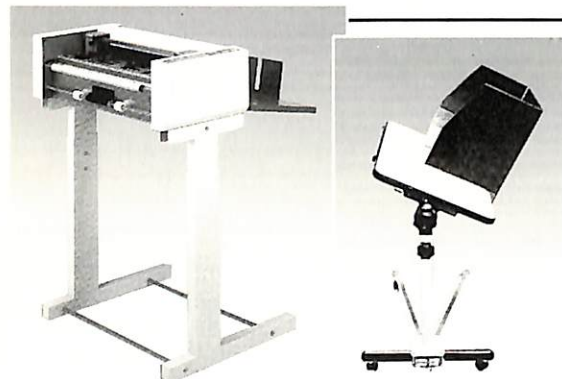
日本最高速の印刷スピードと両面印刷を実現。32マス22行をわずか5秒で打ち出し、ラインプリンタにありがちな紙のよれもなく、すばやく美しく仕上げます。

ESA721 点字プリンタ・プロッタ 点図表現も思いのまま。 定評ある高性能&多機能型



高速印字はもちろん、3点方式による点作図プロッタ機構（世界初）の搭載で、すぐれたグラフィック表現が可能。音も静かで、広くご愛用いただいています。

V-500 大量の用紙カットも、スムーズ&スピーディー



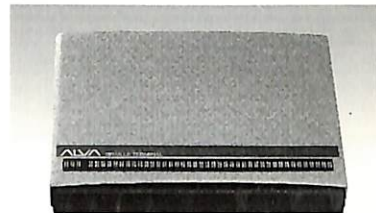
ページエンドと片耳（両耳）カット同時で1,000枚が15分で完了。操作状況が一目でわかる液晶パネル、ページとばし防止ストッカーなどかんたん操作で使いやすく、音も静かです。

PORTA-THIEL ポータ・ティール日本仕様 机の隣に一台、気軽なパーソナル・プリンタ



点字プリンタでは世界的信頼を誇るドイツ・ティール社との提携で生まれた、コンパクトサイズのパーソナルプリンタ。日本点字規格への対応はもちろん、すべて日本仕様です。

ALVA BRAILLE TERMINAL ABT-340 (40+3キャラクター) 世界標準にアクセスできる 点字用ピンディスプレイ



MS-DOSをはじめIBM/OS2、ウィンドウズにも対応。オランダ・アルバ社特許のタッチカーソルにより、優れた操作性を実現しました。小型軽量で、ノートパソコンにも最適です。

各機器についての詳細、
その他取り扱い機器については、
弊社まで資料をご請求ください。



JTR Corporation

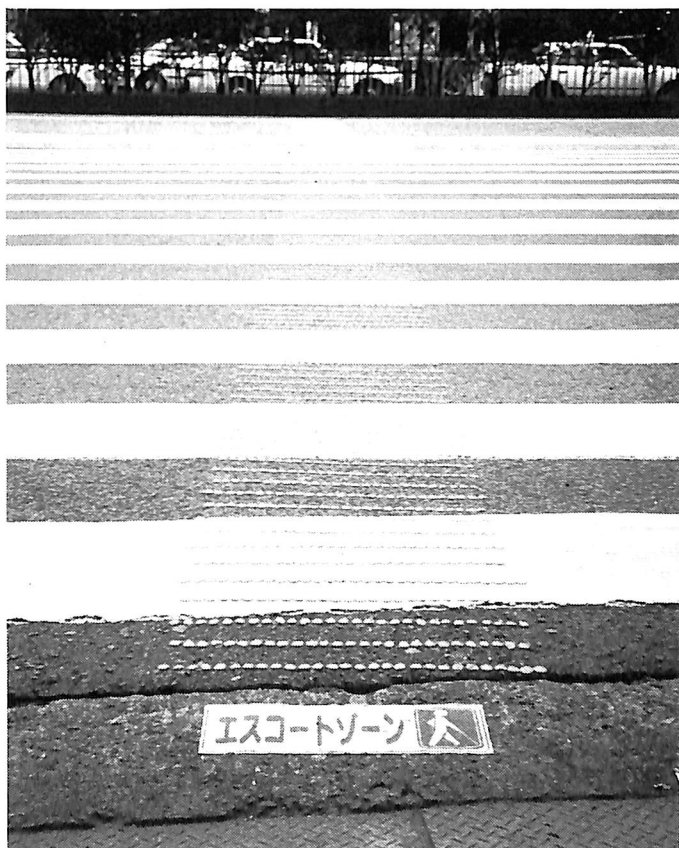
有限会社 ジェイ・ティール・アール
東京都北区浮間4-17-4

Tel.03-5392-0414 Fax.03-3967-8254

突起の付いた横断歩道 「エスコートゾーン」

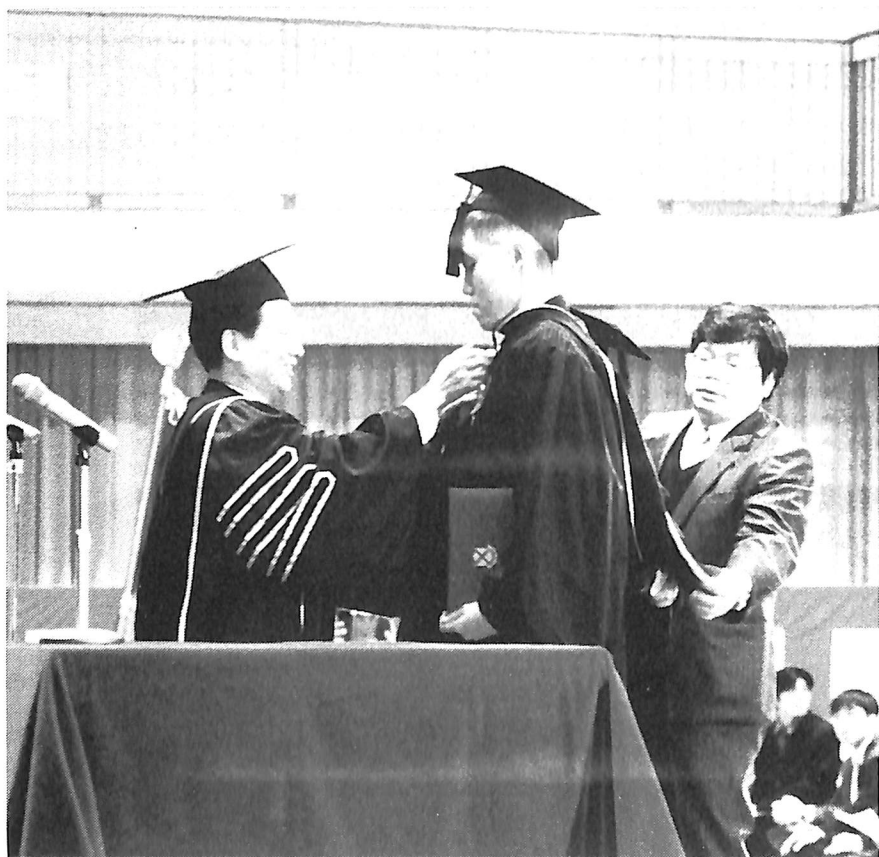
愛媛県松山市中央2丁目、国道43号線の交差点に、横断帯「エスコートゾーン」が日本で初めて設置されました。これは、視覚障害者の安全な横断のために県警が試行したもので、8cmの間隔で梯子段状に敷かれたリブ（突起）帯を、足裏で感じ取り横断歩道を直進できるようになっています。

（関連記事、インフォメーション頁に掲載）



視覚障害者横断帯「エスコートゾーン」

西山 聖也さん 卒業式で総代、 4月より新たな出発



桃山学院大学社会学部に在籍し福祉を学んでいた西山 聖也さんは、学生時代、教材朗読等のボランティアの支援を受けトップの成績を収め、先に行われた卒業式（平成9年3月15日）では、同学部卒業生566人の総代として、学長より卒業証書を受け取りました。

また西山さんは、この春、市の社会福祉協議会勤務という新たなスタートをきったところです。

広沢 大八郎さんの喜寿を祝い、 点字と出会ってからの50年に 感謝をする会

広沢さんは、疎開先の関西で日本ライトハウス創設者の岩橋 武夫より点字の手ほどきを受けました。以来、点字板・点字タイプライター・パソコンと点訳方法は変わりましたが、点訳の心は微動だにもせず、主に視覚障害大学生に対し、東京・大阪で点字を打ち続けてきました。



写真は、4月26日の夕刻に開かれた和やかな会の風景。

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

本誌145号の特集でも指田忠司氏にご紹介いただいたように、米国オハイオ州やフランスでは映画上映で視覚障害者向け音声解説サービスが実施されています。これに倣ったかどうかは別として、日本でも4月から大阪の西九条にある映画館で洋画における字幕の朗読サービスが始められ話題を呼んでいます。ボランティアの協力によるところなど、その方式はオハイオ州に共通する点がありますが、また一つバリアが取り除かれた感があり、その普及が期待されます。

一方、劇団昴によって始められた観劇における音声解説サービスは、さらに充実してきました。次回講演は東京の300人劇場でのシェイクスピア作『十二夜』。講演期間は97年6月6日（金）から25日（水）、平日19時、日曜・最終日は14時開演で、全講演音声解説付きとなっています。詳しくは電話 03-3944-5451 へお尋ねください。

（立花明彦）

視 覚 障 害	1997年 5 月 No.149
年間講読料	4,200 円（送料とも）
発行日	1997年 5 月 1 日
編集人	立花 明彦
(連絡先) 日 本 盲 人 福 祉 研 究 会	
〒167 東京都杉並区上荻 2 丁目37番10号	
Kei ビル3階	
電 話 (03) 5310-5051 (代)	
FAX (03) 5310-5053	
振替口座 00160-4-16103	
発行人	身体障害者団体定期刊行物協会
〒157 東京都世田谷区砧 6-26-21	
印刷所	合同印刷株式会社
〒130 東京都墨田区業平 2-9-13	
電話 03(3624) 6111 (代表)	